

2026 年度（令和 8 年度）学校推薦型選抜（普通科等）問題

小 論 文

国際商経学部（経済学コース・経営学コース）

注意事項

1. 試験監督者の指示があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. この問題冊子は表紙のほかに 3 ページあります。
3. 問題は「問題 1」と「問題 2」の 2 題あります。
4. 解答用紙は 4 枚あります。
5. 各解答用紙には氏名および受験番号の記入欄があります。試験監督者の指示に従い、すべての記入欄（氏名、受験番号いずれも 4 箇所ずつ）に記入してください。
6. 解答は解答用紙の所定の箇所に記入してください。
7. 解答用紙は横書きです。
8. 数字は 1 マスに 1 字ずつ記入してください。たとえば、10 は 2 マスを使って記入してください。
9. 解答用紙の裏面には記入しないでください。
10. 下書き用紙は 4 枚あります。
11. 解答時間は 120 分です。
12. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

問題 1. 以下の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。

「頑張って勉強したのに定員割れなんて悔しい」。7 日、大阪府●●市の府立●●高校で、満開の桜に迎えられて入学式に臨んだ女子生徒(16)は唇をかんだ(注1)。多くの友人は「授業料が無償なら」と早く合否が出る私立を選んだ。同校は 1909 年創立の名門校だ。しかし 2025 年度の一般選抜の倍率は 0.94 倍。現行の入試が始まった 2016 年度以降で初めて 1 倍を切り、SNS で「●●ショック」と波紋が広がった。長男の入学式に参加した A 氏は築 80 年以上の校舎を眺めながら「学費の壁がなくなれば、施設がきれいな私立を選びたくなるだろうな」とつぶやく。自民、公明、日本維新の会の 3 党は 2 月、高校授業料の無償化に合意した。2026 年度から世帯年収に関係なく、年 45 万 7000 円を上限に就学支援金を支給する。無償化によって何が起きるか。国に先行した自治体で始まったのは受験生の「私立シフト」だ。

2024 年春の入試で、大阪府では私立専願が過去 20 年で初めて受験生の 3 割を超えた。公立 131 校のうち半数近くが定員割れし、無償化以前から急増した。東京都では都立高(全日制)の応募倍率が 2025 年春入試で平均 1.29 倍となり、比較できる 1994 年度以降で最低になった。出願したが受験しない「棄権率」がトップ校でも上昇傾向にある。「公私が切磋琢磨(せっさたくま)してよりよい教育を」。無償化を推し進める維新は狙いの一つをこう定める。私立シフトは競争の結果ともいえるが、その実態や余波の検証は十分ではない。学校現場が懸念するのは学習意欲の低下だ。公立高の一般入試は原則 5 科目。私立は 3 科目かそれ以下が多い。慶應義塾大学のある教授は「入試科目の少なさや校舎のきれいさで競争するのは不毛。私立には入試科目に縛りをかけるなど一定の規律が不可欠だ」と強調する。さらに公立の会計面での自由度や独立性を高めたり、退学率といった教育・指導に関するデータを公表したりして、平等な競争条件を整えることを提案する。大学までの授業料が全額公費負担のスウェーデンでは、規制緩和が進んだ 1990 年代以降に私立の参入が加速。同国の教育事情に詳しい信州大学のある准教授は「公立も私立も生徒募集のために広告を打ち合っている。公費を原資に教育の質とは無縁の競争が起きている」とする。

一方、危機感の高まりは公立の「横並び意識」を変える契機になる。「半導体業界は人手不足が見込まれる。実践的な授業によって専門性を持ち、現場のリーダーとなる生徒を地域に送り出したい」。熊本県立熊本工業高校の教諭、B 氏は意気込む。同県では 2024 年に半導体受託生産世界最大手、台湾積体電路製造(TSMC)の日本初の工場が完成。これを受け、同校電子科は全国初だという科目「半導体技術」を 3 年生の必修とした。2025 年春の同科の一般入試の倍率は 1.9 倍となり、普通科を含めた全県立高校の平均(0.9 倍)を大きく上回った。工業高卒業者への求人倍率は 2024 年春卒で 27.2 倍と過去最高だった。全国の工業高の多くは定員割れに悩むが、地域や社会のニーズに耳を傾け、存在意義をより高める余地は十分ある。高校進学率は約 99%に達し、実質的に義務教育に近い存在になった。公立の淘汰が進めば、生徒の不利益や地域の衰退につながる可能性もある。「何が公立の強みなのか」。生き残りに向け、ある都立高の校長は自問自答を始めた。

(敬称略)

(日本経済新聞 「高校無償化の大波 1 公立、名門校も定員割れ」(2025 年 4 月 28 日朝刊より一部修正。)

注 1 「●●」は地方都市。

問 1 筆者の言いたいことを 100 字程度で書きなさい。ただし「公立高校の統廃合」と「公立高校の特色化」の 2 つの用語を必ず使いなさい。

問 2 大阪府の高校無償化政策により、どのようなことが生じたと筆者は考えていますか。良かった点と悪かった点をそれぞれ 2 つずつ、本文を参考にして列挙しなさい。なお言葉を適度に付け足すのは構いませんが、本文中にない内容を書いてはいけません。本文中に良かった点と悪かった点は 2 つずつあるとは限りません。3 つ以上ある場合は、自分が重要と考えるものを 2 つ選んで書きなさい。

問 3 問 2 で挙げた悪かった点を解決するために、本文中の熊本県の例のように自治体や学校ができる対応策を 250 字以内で書きなさい。その際、その課題をどのように解決することが可能になるのかが分かるように書きなさい。

問題 2. 次の英文を読んで、後の問いに日本語で答えなさい。

On February 28, 2024, Sewell Setzer III, a 14-year-old boy from Florida, killed himself at the urging of a lifelike AI character generated by Character.AI, a platform that is also reportedly hosting pro-anorexia AI chatbots that encourage disordered eating among young people. Clearly, stronger measures are urgently needed to protect children and young people from AI. Of course, even in strictly ethical terms, AI has immense positive potential, from promoting human health and dignity to improving sustainability and education among marginalized populations. But these promised benefits are no excuse for downplaying or ignoring the ethical risks and real-world costs. Every violation of human rights must be seen as ethically unacceptable. If a lifelike AI chatbot provokes the death of a teenager, the fact that AI could play a role in advancing medical research is no compensation.

Nor is the Setzer tragedy an isolated case. This past December, two families in Texas filed a lawsuit against Character.AI and its financial backer, Google, alleging that the platform's chatbots sexually and emotionally abused their school-age children, resulting in self-harm and violence.

We have seen this movie before, having already sacrificed a generation of children and teens to social-media companies that profit from their platforms' addictiveness. Only slowly did we awaken to the social and psychological harms done by "anti-social media." Now, many countries are banning or restricting access, and young people themselves are demanding stronger regulation.

But we cannot wait to rein in AI's manipulative power. Owing to the huge quantities of personal data that the tech industry has harvested from us, those building platforms like Character.AI can create algorithms that know us better than we know ourselves. The potential for abuse is profound. AIs know exactly which buttons to press to tap into our desires, or to get us to vote a certain way. The pro-anorexia chatbots on Character.AI are merely the latest, most outrageous example. There is no good reason why they shouldn't be banned immediately.

[出典] Kirchschräger, P.G., How Many Children Must AI Kill? *Project Syndicate*, May 16, 2025.

[注] lifelike 生きているような、pro-anorexia AI chatbot 拒食症的な行動を助長する AI チャットボット、immense 計り知れない、marginalized 疎外された、downplay 軽視する、provoke 引き起こす、financial backer 資金提供者、movie 出来事、rein in 制御する、manipulative 誘導的な

問 1 筆者は AI（人工知能）について、倫理的な側面からどのように述べているか。筆者の考えを 300 字以内で要約しなさい。

問 2 AI の普及に伴い、昨今では AI の規制が必要であるという声も聞かれるようになった。AI を規制することの是非について、あなたの考えを 400 字程度で述べなさい。